



仙台・宮城元気ニュース

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

令和4年度第2号(通算第75号)
令和4年6月30日発行-隔月発行-
【発行】宮城県仙台地方振興事務所



いちご農家がつくるスイーツを御賞味ください！

【農業振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1



仙台市立大沢小学校で田植え体験が行われました

【農業農村整備部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2



名取市花卉生産組合が生花店と連携してカーネーションの
産地表示販売に取り組みました

【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】・・・・・・・・・・・・ 2



水稻乾田直播栽培勉強会を開催しました

【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】・・・・・・・・・・・・ 3

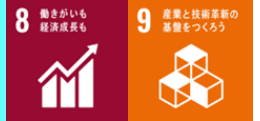


観光ガイドブック「#せんだい WOW！な旅」を発行しました！

【地方振興部】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

いちご農家がつくるスイーツを御賞味ください！

▶農業振興部



ベリープラネット（仙台市）は、ララガーデン長町に、いちご和スイーツ専門店「甘熟いちごや燦燦園(さんさんえん)」を、3月26日にオープンさせました。ベリープラネットは、山元町のいちご生産法人である燦燦園が、スイーツ販売等を展開する6次産業化の取組や、仙台市内でのいちご栽培を行うために設立した法人です。

「甘熟いちごや燦燦園」はオープンから3か月が過ぎましたが、5月の大型連休や休日には多くのお客様の御来店があり、「甘熟いちごろシェイク」、「いち氷」、「こしかけいちご大福」や「いちご和さんど」など、鮮やかな赤が目をひく、自社のいちごを贅沢に使ったスイーツを御賞味いただいたとのことです。

また、ベリープラネットでは、仙台市若林区上飯田地区において、いちご栽培を開始し、スイーツの加工販売等も行う予定です。



▲ いちご和スイーツ専門店
「甘熟いちごや燦燦園(さんさんえん)」

▲ 大切に育てたいちごが主役のスイーツ

仙台市立大沢小学校で田植え体験が行われました

▶農業農村整備部



5月24日に、仙台市立大沢小学校の学童農園田において、5学年児童34人が「ひとめぼれ」の田植え作業を体験しました。今回の体験会は児童たちが田植え体験を通じて、農業・農村の持つ多面的な機能を身近に学べるよう、仙台市大倉川土地改良区が、21世紀土地改良区創造運動の「総合的な学習の地域活動」として開催したものです。

ほとんどの児童が田んぼの中に入るのも、田植え作業も初めてで、田んぼのぬかるみに裸足で入ったときには歓声があがりました。植え始めは泥に足をとられたりと慣れない様子でしたが、地域の方々の指導の下、すぐに田んぼに慣れ、作業のスピードも早くなり、田植えを楽しめるようになりました。

児童からは、「田んぼの中は冷たくて気持ち良い!」、「もっと沢山田植えをしたい!」、「貴重な体験ができて楽しかった」といった感想が寄せられました。農作業の楽しさを実感するとともに、農業の大変さも知ることができ、とても有意義な体験学習となりました。

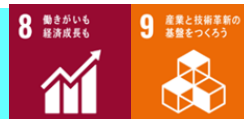


▲ 田植えの説明を受ける様子



▲ 田植えをする様子

名取市花卉生産組合が生花店と連携してカーネーションの産地表示販売に取り組みました ▶農業振興部（亙理農業改良普及センター）



花きの分野においては、産地名を表示した販売が十分に行われていないため、消費者が購入する時に、産地を認識しづらい状況にあります。

そうした中、名取市花卉生産組合では、昨年カーネーションの産地表示販売に取り組んでいます。今年も5月上旬の母の日前の需要期に、名取市や近郊の生花店9店舗と関係機関の協力を得て、のぼり旗やステッカーシール、産地紹介パンフレット等を活用した産地表示販売を行いました。

その後、組合員が関係機関と各生花店を訪問し、販売時の感触や来店客の反応を聞き取り、今後に向けた意見交換を行いました。

一連の活動を通じて、これまであまり接点が無かった生産者と生花店の交流機会が増え、生産と販売が連携して地域の特産品を盛り上げていこうとする機運ができています。



▲ 産地名を表示したカーネーションの花束



▲ 生花店での聞き取り調査の様子

5月26日に、岩沼市で「水稲乾田直播栽培（すいとつかんでんちよくはさいばい）勉強会」を開催し、生産者16名のほか、国等の関係機関に参加いただきました。

乾田直播栽培とは、苗を育てて田植えをする移植栽培とは異なり、乾燥した水田に直接種子を播く栽培技術です。育苗や代かき作業が不要で省力的であることに加え、田植えと重ならない時期に播種作業ができるため、大規模に稲作を営む経営体を中心に徐々に広がりを見せており、令和4年度は、前年度から51ha増の、235haの水田で導入されました。しかし、この栽培では出芽が不揃いになりやすい、雑草が残りやすいなどの課題もあり、普及センターでは栽培技術向上のため、令和元年度から定期的に勉強会を開催しています。

勉強会では、出芽揃いを良好にするためのポイントや、入水・雑草防除の適期について、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センターから助言を受けたほか、参加者間で活発な意見交換が行われました。



▲ 播種作業



▲ 水稲乾田直播栽培勉強会

観光ガイドブック「#せんだい WOW! な旅」を発行しました！

▶地方振興部



仙台・松島エリア（※）のおすすめモデルルートや観光コンテンツの情報が盛りだくさんの観光ガイドブック「#せんだい WOW! な旅」を発行しました！旅のお供に、ぜひご活用ください！



※仙台・松島エリアとは・・・
仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亙理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村の総称です。

ガイドブックのPDFダウンロードは
こちらから！▶

